

山よし！技よし！文化よし！  
夢がきらめく☆元気なまち 加東

# 輝く加東の 実現に向けて

加東市長 安田 正義



初夏を迎え、日々増す日ざしの眩しさが、輝く加東の未来を予感させてくれているようです。このたび、第2代加東市長として市政の舵取り役を務めさせていただくことになり、日々責任の重さを強く感じております。

「為(な)せば成(な)る 為(な)さねばならぬ何事も 成らぬは人の為(な)さぬなりけり」。まさに現在の私の思いと重なるものがあります。

およそ事を成すのに必要なのは、それをやり遂げるといふ決心・決意です。今、想像を超える重圧と緊張の中にありますが、市民のみなさまにお応えするべく、まい進してまいりたいといふのが率直な気持ちです。

加東市は、合併後5年目を迎えました。政府が掲げる「地域のことば、地域で決める」といふ地域主権の理念により、地方公共団体は自ら考え、自らの責

任における行動を一層求められています。まさに、市全体が一体となって前進していかなければならない時期だと感じております。

私は、まちづくりの推進にあたっては、今日における人口減少社会への対応と行財政改革の推進、そして、若者の定住・雇用確保のための工業団地への企業誘致強化や、教育・育児支援などに関する兵庫教育大学との連携の促進を大切にしたいと思っています。

また、この5年間、約4万人でほぼ横ばいである加東市の人口も、県の予測では50年後には2.5万人へ減少するといわれていますが、「人口はまちの活力の指標」であり、多くの人が「ここに住みたい」と思うまちづくりを目指します。

加東市のまちづくりスローガン「山よし！技よし！文化よし！夢がきらめく 元気なまち 加東」

の実現を目指した市総合計画との整合性を図りながら、「行財政改革の推進」、「安全、安心のまちづくり」、「産業基盤の充実」の重要課題を引き継ぎ、さらにパワーアップした、どこよりも元気で、安全・安心な、誰もが住みたくなる「幸せがきらめくまち、輝く加東」づくりに誠心誠意取り組んでまいります。

